

全日本民医連介護職部会代表者会議(12/6~7)に参加して

12/6~7 に東京で、全日本民医連介護職部会代表者会議が開催されました。

千葉大学医学部附属病院地域連携部特任准教授上野秀樹氏による記念講演「認知症を地域で支える」では、医療モデルと生活モデルで利用者に援助する支援が違い、介護職による心を動かす支援が重要であることを学ぶことができました。

また、特別報告(「キラッと介護」、介護職部会県連アンケート結果)や指定報告(「青森県連介護福祉委員会活動報告」「石川民医連介護職部会の活動の振り返りと今後の期待」「近畿地協の介護職集会と京都民医連介護職委員会の活動報告」「震災時における介護職の役割」「あずみの里裁判報告」)では、民医連の介護職員が非正規を含め3万人の集団になっており、看護師とは別に部会をつくり、組織づくりと質の向上が急務であることが分かり、分散会では、他の県連の方と交流や意見交換ができ、大変貴重な研修ができました。



た。会議終了後は、参議院会館に移動し、国会行動にも参加しました。

香川民医連では、まだ部会の立ち上げができていないが、介護職員の学習交流会や、年2回介護ウエーブも行っており、他の県連の負けていない活動ができていることがわかり、部会を立ち上げてみたほうが良いと感じました。

(老健虹の里 戸田武彦)



リレー投稿

12月17日の夜のこと、中川家やノンスタイルのしゃべくり漫才が好きな私は、こたつに入って、みかんを食べながら「THE MANNZA I」を観ていた。ウーマンラッシュアワーは村本の毒舌が好きでないの、あまり期待していなかったが、始まったとたん驚いた。村本の出身地は、福井県おおい町。周辺の小さな地域に原発4基。夜7時を過ぎると真っ暗になると早口でまくしたて、「電気はどこへ行くう〜」と叫んだところで、隣でうたた寝していた夫を起こした。

続いて東京都の小池百合子都知事の話に(注:小池和美ではありません)

都民ファーストではなく、自分ファーストだと。次に沖縄の話に。基地の問題や思いやり予算に触れ「アメリカに思いやりを持つ前に〜」「沖縄に思いやりを持って〜」その後熊本、アメリカ、北朝鮮の話に。見ていた私が日曜のこの時間のテレビでここまで言って大丈夫?と心配になるほど。そして最後に「現在日本が抱えている問題は」と原発や沖縄の基地問題を羅列し「でも結局ニュースになっているのは?」議員の暴言、不倫、と続き、「だから本当に危機を感じないといけないのは」「国民の意識の低さ」マイクに向かって大声で「お前たちの

ことだ〜!」

圧巻の5分30秒だった。放送後予想通り賛否両論の大きな反響が起きている。ウーマンラッシュアワーはきっと覚悟の上での全国放送だろう。フジテレビもよく放送してくれたとも思う。でも世界に誇れる日本国憲法がある日本で、すごくまっとうなことをいっているだけなのに、すごい覚悟とかよく放送してくれたと思ってしまう日本という国や、私たち国民の感覚がすでにおかしくなっているのかもしれない。

9条を守りたい、憲法を守りたいといっている私に、正面むいて指さされ、「覚悟はあるのか」と言われた気がした。まだ観てない方はネットでみられるので、ぜひ観て考えてみてください。彼らが干されないようにするためにも、また誰でも自由に発言できるためにも一人一人が声を上げることが、必要なのだ改めて痛感した。

(生協へいわ歯科 小池和美)

安倍 改憲に

物申す



一言